2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社パワーソリューションズ			上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4450			URL	https://powersolutions.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)	代表取締役社長	(氏名)	高橋　忠郎	
問合せ先責任者	(役職名)	執行役員経営企画本部長	(氏名)	加藤　康男	(TEL) 03(6878)0284
配当支払開始予定日		ー			

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,369	22.0	672	△2.1	519	△13.2	528	△10.0	249	△21.8
2025年12月期第３四半期	6,042	23.7	687	68.5	598	69.5	587	78.3	319	56.4

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　290百万円(△17.5%)　2025年12月期第３四半期　351百万円(70.4%)

※ EBITDAは、営業利益＋償却費（減価償却費、のれん償却費等）として、算出しております。

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	79.82	77.70
2025年12月期第３四半期	105.72	102.18

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,676	4,073	56.9
2025年12月期	6,537	3,802	54.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　3,801百万円　　2025年12月期　3,569百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	12.50	ー	12.50	25.00
2026年12月期	ー	13.00	ー		
2026年12月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	23.5	714	△13.9	516	△27.6	490	△30.2	217	△43.9	69.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　２社（社名）株式会社アゼスト、株式会社キャッツ　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,143,810株	2025年12月期	3,135,406株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	9,832株	2025年12月期	9,832株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,132,110株	2025年12月期３Ｑ	3,023,159株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記） …… 8
（四半期連結損益計算書関係） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（自 2026年１月１日至 2026年９月30日）における我が国経済は、所得環境の改善、インバウンド需要の拡大などに後押しされ、緩やかな回復基調となりました。一方で、継続的な物価上昇、中東情勢の緊迫化など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。その中で政府は、家計金融資産を貯蓄から投資に回すためにNISAやiDeCoの拡充・改革を進めており、2027年１月からこどもNISAの創設を初めとした制度改正を予定しているなど、今後も当社がターゲットとする資産運用業界に更なる成長が期待されます。

当社が主に提供するDX推進・DXコンサルティングサービスの主要販売先である金融業界の資産運用（投信・投資顧問）セクターにおきましては、顧客の経営戦略に伴って、業務・事務負担が発生する度に必要な対応があり、業界全体として引き続き業務ソリューションの需要が高まっております。さらに、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）関連サービスの市場は依然として各種メディアでの注目度は高く、業務効率化、人件費削減、ヒューマンエラー防止、働き方改革の推進など、金融業界のみならず一層活用期待は高まっております。

このような環境のもと当社は、中期経営計画にて2025年から2027年の3か年を、飛躍に向けた変革期として位置付け、「つくる」から「つかう」へのシフトと最上流コンサル領域への進出期として捉えており、重点施策として、①既存顧客との取引拡大、②新規顧客獲得（顧客基盤の拡大）、③人員の増強と顧客単価の向上、④コンサルティング領域への進出、という４つを掲げ、事業の成長に取り組んでおります。

当社グループのサービス別の当期の事業状況は次の通りです。まず、売上高は、当社、当社の子会社である株式会社イノベーティブ・ソリューションズ及び株式会社ウィズ・テックが提供するDX推進・DXコンサルティングサービスは、株式会社ウィズ・テックの業績が新たに連結したことに加え、既存の事業も安定的な需要に後押しされ、堅調に成長しております。次に、当社の子会社である株式会社OLDEが提供するRPA関連サービスは、旺盛な需要及びRPA人材へのリスキリングによる単価向上により、順調に成長しております。最後に、当社の子会社である株式会社エグゼクション及び株式会社八興システムズが提供するインフラエンジニアリングは、株式会社八興システムズの業績が新たに連結したこともあり、順調な成長となりました。また、利益面は、事務所移転関連費用の計上により、計画していた通り減益となりました。なお、2026年４月に子会社化した株式会社アゼスト及び2026年５月に子会社化した株式会社キャッツは６月30日をみなし取得日としているため、第２四半期連結会計期間より連結の対象に含めております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高7,369,660千円(前年同期比22.0％増)、EBITDA672,797千円（前年同期比2.1%減）、営業利益519,584千円(前年同期比13.2％減)、経常利益528,511千円(前年同期比10.0％減)、親会社株主に帰属する四半期純利益249,991千円(前年同期比21.8％減)となりました。

また、当社グループは、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しており、EBITDAは営業利益＋償却費（減価償却費、のれん償却費等）として算出しております。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ75,347千円減少し、4,383,642千円となりました。これは主として、売掛金及び契約資産が445,835千円増加した一方で、現金及び預金が363,271千円減少、前渡金が358,925千円減少したことによるものです。

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ214,434千円増加し、2,293,046千円となりました。これは主として、長期前払費用が230,786千円減少した一方で、のれんが463,214千円増加したことによるものです。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ146,443千円減少し、2,048,508千円となりました。これは主として、賞与引当金が106,065千円増加した一方で、流動負債その他に含まれる前受金が197,130千円減少したことによるものです。

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ14,012千円増加し、554,319千円となりました。これは主として、長期借入金が156,595千円減少した一方で、子会社追加による役員退職慰労引当金が165,201千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ271,517千円増加し、4,073,861千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が182,372千円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年２月13日の「2026年12月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,056,363	1,693,092
売掛金及び契約資産	1,524,562	1,970,398
棚卸資産	26,421	34,770
前渡金	595,459	236,534
その他	265,281	460,374
貸倒引当金	△9,099	△11,526
流動資産合計	4,458,990	4,383,642
固定資産		
有形固定資産	62,149	259,925
無形固定資産		
技術関連資産	104,526	82,128
のれん	239,427	702,642
その他	48,431	36,866
無形固定資産合計	392,386	821,636
投資その他の資産		
投資有価証券	458,023	340,916
長期前払費用	418,864	188,077
敷金及び保証金	409,350	325,440
繰延税金資産	235,682	318,767
その他	102,154	38,281
投資その他の資産合計	1,624,075	1,211,483
固定資産合計	2,078,611	2,293,046
資産合計	6,537,602	6,676,688
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,091	339,954
１年内償還予定の社債	10,000	10,000
１年内返済予定の長期借入金	230,780	246,188
未払法人税等	194,777	144,536
賞与引当金	179,741	285,807
役員賞与引当金	62,223	－
受注損失引当金	395	－
その他	1,217,941	1,022,021
流動負債合計	2,194,951	2,048,508
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	341,955	185,360
退職給付に係る負債	45,895	65,925
役員退職慰労引当金	100,978	266,180
繰延税金負債	24,707	21,854
その他	6,770	－
固定負債合計	540,306	554,319
負債合計	2,735,258	2,602,827

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,768	509,449
資本剰余金	495,267	540,839
利益剰余金	2,572,100	2,754,472
自己株式	△12,116	△12,116
株主資本合計	3,563,019	3,792,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,184	8,426
その他の包括利益累計額合計	6,184	8,426
非支配株主持分	233,140	272,790
純資産合計	3,802,344	4,073,861
負債純資産合計	6,537,602	6,676,688

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	6,042,132	7,369,660
売上原価	3,976,881	4,894,035
売上総利益	2,065,250	2,475,625
販売費及び一般管理費	1,466,578	1,956,040
営業利益	598,672	519,584
営業外収益		
受取利息	2,351	5,201
助成金収入	－	7,786
補助金収入	12,575	－
協賛金収入	－	22,000
その他	3,084	10,890
営業外収益合計	18,011	45,878
営業外費用		
支払利息	2,384	3,206
持分法による投資損失	2,851	3,255
投資事業組合運用損	23,522	29,384
その他	432	1,104
営業外費用合計	29,191	36,951
経常利益	587,492	528,511
特別利益		
固定資産売却益	－	632
投資有価証券売却益	415	－
段階取得に係る差益	－	34,380
特別利益合計	415	35,013
特別損失		
退職特別加算金	※1　22,464	※1　21,730
事務所移転費用	－	26,260
特別損失合計	22,464	47,990
税金等調整前四半期純利益	565,444	515,534
法人税、住民税及び事業税	272,301	263,787
法人税等調整額	△59,052	△36,209
法人税等合計	213,249	227,577
四半期純利益	352,194	287,956
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,571	37,965
親会社株主に帰属する四半期純利益	319,622	249,991

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	352,194	287,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395	2,242
その他の包括利益合計	△395	2,242
四半期包括利益	351,799	290,199
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,227	252,234
非支配株主に係る四半期包括利益	32,571	37,965

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

連結の範囲の重要な変更

第２四半期連結会計期間より、株式会社アゼストは新たに株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。また、従来持分法適用関連会社であった株式会社キャッツは、株式の追加取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。

（四半期連結損益計算書関係）

※１　退職特別加算金

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

当社の連結子会社が退職金制度を廃止したことによる清算金を退職特別加算金として特別損失に計上しております。

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

当社の連結子会社が退職金制度を廃止したことによる清算金を退職特別加算金として特別損失に計上しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

当社グループは、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

当社グループは、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	50,819千円	70,063千円
のれん償却額	40,177 〃	81,459 〃